

# Acronis Universal Restore

# 目次

|  |          |
|--|----------|
| <b>Acronis Universal Restore とは</b> .....  | <b>3</b> |
| Acronis Universal Restore のインストール .....    | 3        |
| <b>ブータブルメディアの作成</b> .....                  | <b>4</b> |
| <b>Acronis Universal Restore の使用</b> ..... | <b>5</b> |
| Windows での Acronis Universal Restore ..... | 5        |
| Linux での Acronis Universal Restore .....   | 6        |

# Acronis Universal Restore とは

Acronis Universal Restore ツールは、オペレーティングシステムを物理マシンまたは仮想マシン上で起動するのに役立つ設計になっています。このツールは、オペレーティングシステムの起動にとって重要なデバイス（ストレージコントローラ、マザーボード、チップセットなど）のドライバを検索しインストールします。

Acronis Universal Restore は次のような状況で特に役に立ちます。

1. 障害が発生したシステムの異機種ハードウェア上での迅速な復元
2. オペレーティングシステムのハードウェア非依存のクローン作成および配置
3. 物理コンピュータから物理コンピュータ、物理コンピュータから仮想コンピュータ、および仮想コンピュータから物理コンピュータへの移行

## Acronis Universal Restore のインストール

### Windows で Acronis Universal Restore をインストールするには

1. <https://www.acronis.com/products/universal-restore/download/> からインストールパッケージをダウンロードし、それを保存します。
2. ダウンロードした .exe ファイルを実行します。
3. 画面の指示に従います。

### Linux で Acronis Universal Restore をインストールするには

1. <https://www.acronis.com/products/universal-restore/download/> からインストールパッケージをダウンロードし、それを保存します。
2. インストールパッケージ（.i686ファイルまたは.x86\_64ファイル）を保存したディレクトリに移動し、次のコマンドを実行します。

```
chmod 755 Acronis*
```

3. インストールファイルをrootユーザーとして実行します。
4. 画面の指示に従います。

# ブータブルメディアの作成

ブータブルメディアを作成する手順は、次のとおりです。

1. インストール済みの実行ファイルを実行します。

Windowsの場合、デフォルトでは本製品が次のフォルダにインストールされます。

- 32 ビット版 Windows: %CommonProgramFiles%\Acronis\UniversalRestore。
- 64 ビット版 Windows: %CommonProgramFiles(x86)%\Acronis\UniversalRestore。

Linuxの場合、/usr/sbin/universal\_restore から本製品を起動します。

2. 画面の指示に従います。詳細については、製品内のヘルプを参照してください。

# Acronis Universal Restore の使用

Acronis Universal Restore をオペレーティングシステムに適用するには、マシンをブータブルメディアから起動します。オペレーティングシステムがマシンに複数存在する場合は、Acronis Universal Restore の適用先となるオペレーティングシステムを選択するように求められます。

## Windows での Acronis Universal Restore

### 準備

1. ドライバを準備します。

Acronis Universal Restore を Windows オペレーティングシステムに適用する前に、新しい HDD コントローラーとチップセット用のドライバを用意します。これらのドライバは、オペレーティングシステムの起動に不可欠です。ハードウェアベンダから提供されているCDまたはDVDを使用するか、またはベンダのWebサイトからドライバをダウンロードします。ドライバファイルの拡張子は、\*.inf、\*.sys、または\*.oemです。\*.exe、\*.cab、または\*.zip形式でドライバをダウンロードする場合、サードパーティ製のアプリケーションを使用してドライバを展開します。

ベストプラクティスは、組織で使用するすべてのハードウェアのドライバを、デバイスの種類やハードウェア構成ごとに単一のリポジトリに保存することです。リポジトリのコピーをDVDまたはフラッシュドライブに保存し、複数のドライバを選択してブータブルメディアに追加し、サーバーごとに必要なドライバ（およびネットワーク構成）を搭載したカスタムのブータブルメディアを作成できます。または、Acronis Universal Restore を使用するたびに、リポジトリのパスを指定することもできます。

2. 起動可能な環境におけるドライバへのアクセスを確認します。ブータブルメディアを使用する場合は、ドライバが保存されているデバイスにアクセスする権限を持っていることを確認します。デバイスがWindowsで使用可能であってもLinuxベースのメディアによって検出されない場合は、WinPEベースのメディアを使用してください。

### Acronis Universal Restore 設定

#### 自動ドライバ検索

HAL（Hardware Abstraction Layer）、HDDコントローラのドライバ、およびネットワークアダプタのドライバを検索する場所を指定します。

- ドライバがベンダのディスクまたはその他のリムーバブルメディアにある場合は、**[リムーバブルメディアの検索]** をオンにします。
- ドライバがネットワーク上のフォルダまたはブータブルメディアにある場合は、**[フォルダの追加]** をクリックして、フォルダのパスを指定します。

また、Acronis Universal Restore では Windows のデフォルトのドライバストレージフォルダが自動的に検索されます。このフォルダの場所は、レジストリ値 DevicePath で指定されています。このレジストリ値は、レジストリキー HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\Microsoft\Windows\CurrentVersion にあります。通常、このストレージフォルダは WINDOWS/inf です。

Acronis Universal Restore は、指定されたフォルダのすべてのサブフォルダで再帰検索を実行し、使用可能なすべてのフォルダの中で最も適切な HAL および HDD コントローラドライバを見つけて、イン

ストールし、それらをシステムに入れます。Acronis Universal Restore は、ネットワークアダプタドライバも検索します。見つかったドライバへのパスは、Acronis Universal Restore によってオペレーティングシステムに送信されます。ハードウェアに複数のネットワークインターフェースカードがある場合、Acronis Universal Restore ではすべてのカードのドライバの構成が試行されます。

### インストールする大容量記憶装置ドライバ

次の場合、この設定が必要になります。

- ハードウェアに、RAID（特にNVIDIA RAID）やファイバチャネルアダプタなどの、固有の大容量記憶装置コントローラが存在する場合
- SCSIハードドライブのコントローラを使用する仮想コンピュータにシステムが移行されます。仮想化ソフトウェアに同梱されているSCSIドライバを使用するか、最新版のドライバをソフトウェアメーカーのWebサイトからダウンロードしてください。
- 自動ドライバ検索で、システムを起動できない場合

[**ドライバの追加**] をクリックして、適切なドライバを指定します。プログラムによってさらに適切なドライバが検出された場合でも、その警告が表示され、指定したドライバがインストールされます。

### Acronis Universal Restore 処理

必要な設定を行った後で、[**OK**] をクリックします。

Acronis Universal Restore によって、指定したロケーションに互換性のあるドライバが検出されなかった場合、問題のデバイスを示すプロンプトが表示されます。次のいずれかを実行します。

- 過去に指定したロケーションのいずれかにドライバを追加して、[**再試行**] をクリックします。
- 過去に指定したロケーションを思い出せない場合は、[**無視**] をクリックしてプロセスを続けます。求めていた結果と異なる場合は、Acronis Universal Restore を再適用します。処理の設定時に、必要なドライバを指定します。

Windowsが起動すると、新しいハードウェアをインストールするための標準的な手順が開始されます。ドライバにMicrosoft Windowsのシグネチャがある場合、ネットワークアダプタドライバはダイアログが表示されることなくインストールされます。シグネチャがない場合、Windowsは、署名されていないドライバをインストールするかどうかの確認を求めます。

その後、ネットワーク接続を設定し、ビデオアダプタ、USBなどのデバイスのドライバを指定できます。

## Linux での Acronis Universal Restore

Acronis Universal Restore は、カーネルバージョン 2.6.8 以降の Linux オペレーティングシステムに適用できます。

Acronis Universal Restore を Linux オペレーティングシステムに適用すると、イニシャル RAM ディスクという一時ファイルシステム（initrd）がアップデートされます。これにより、オペレーティングシステムを新しいハードウェアで起動できるようになります。

Acronis Universal Restore によって、新しいハードウェアのモジュール（デバイスドライバを含む）がイニシャル RAM ディスクに追加されます。通常、必要なモジュールは **/lib/modules** ディレクトリに

あります。Acronis Universal Restore によって必要なモジュールが検索できない場合、そのモジュールのファイル名がログに記録されます。

Acronis Universal Restore によって、GRUB ブートローダーの構成が変更される場合があります。たとえば、新しいコンピュータのボリュームレイアウトが元のコンピュータとは異なる場合に、システムのブータビリティを確保するためにこの変更が必要になることがあります。

Acronis Universal Restore によって Linux カーネルが変更されることはありません。

## 元の初期RAMディスクへの復元

必要に応じて、元の初期RAMディスクに復元できます。

初期RAMディスクは、コンピュータ上のファイル内に保存されています。初めてイニシャル RAM ディスクをアップデートする場合は、Acronis Universal Restore によって、ディスクのコピーが同じディレクトリに事前に保存されます。このコピーの名前は、ファイル名の後に `_acronis_backup.img` という接尾辞を付けたものになります。複数回 Acronis Universal Restore を実行（たとえば、不足していたドライバを追加した後など）しても、このコピーは上書きされません。

元の初期 RAM ディスクに復元するには、次の操作のいずれかを実行します。

- 適宜、コピーの名前を変更します。たとえば、次のようなコマンドを実行します。

```
mv initrd-2.6.16.60-0.21-default_acronis_backup.img  
initrd-2.6.16.60-0.21-default
```

- GRUB ブートローダー構成の `initrd` 行でコピーを指定します。